

文部科学省卓越研究員制度 URL : [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/takuetsu/](http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/)

【求人内容】腫瘍溶解性ウイルスによる遺伝子・ウイルス治療は米国で医薬承認も出され、革新的癌治療薬の最有力候補です。我々は次世代のウイルスベクターの m-CRA 技術を独自開発し、既存・競合医薬を凌ぐ第一弾ウイルス Surv.m-CRA は実用化を目指して First-in-human の医師主導治験を本学で開始するところです。癌根治を目指して m-CRA に免疫誘導も組み込んだ革新技術の開発に、熱意を持って取り組む助教 1 名を募集します。  
参照：ポンチ絵

(Gene-viro-therapy using oncolytic virus is the leading candidate in the innovative anticancer medicine as it was approved in USA. We developed a next generation of viral vector technology, m-CRA, and are about to start the first-in-human clinical trial of our first medicine, Surv.m-CRA, which is superior to both conventional and competing ones, in our university. We seek an applicant at Assistant Professor level, who will work to develop the further innovative technology using m-CRA combined with the immunostimulation to eradicate cancers. )

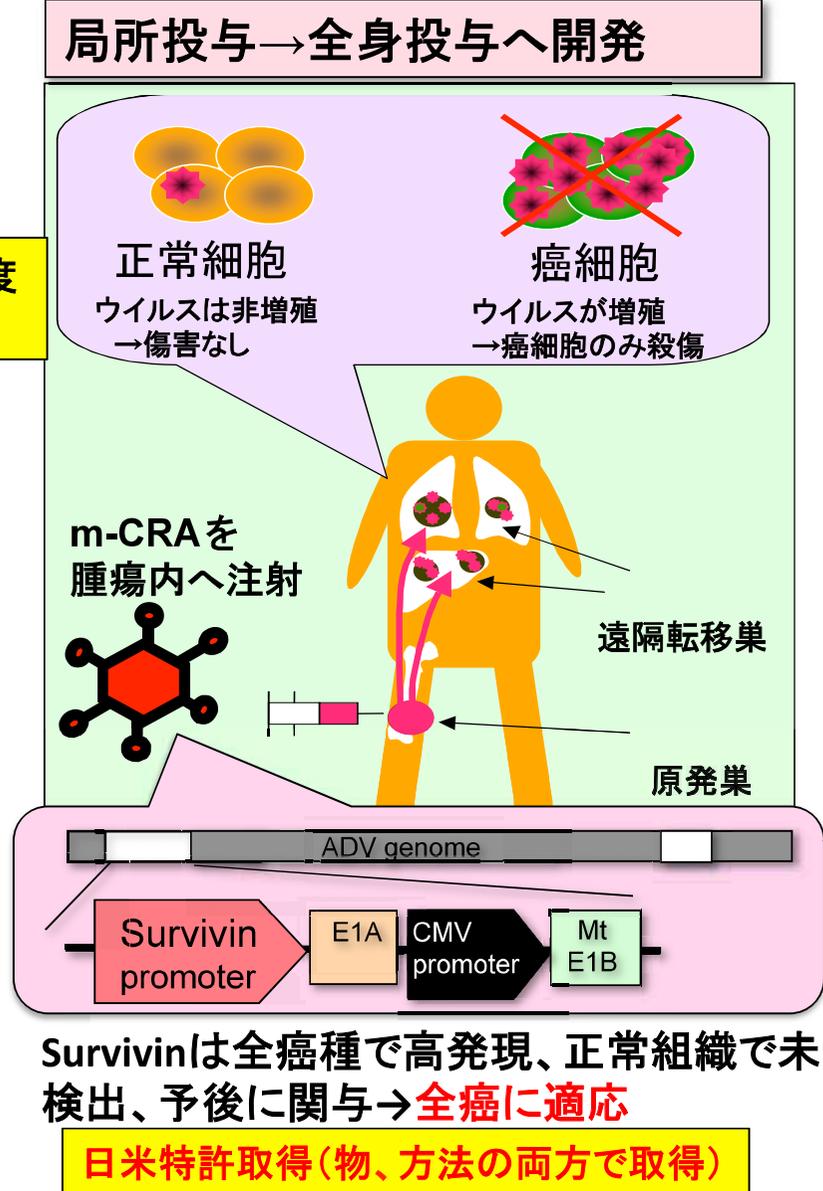
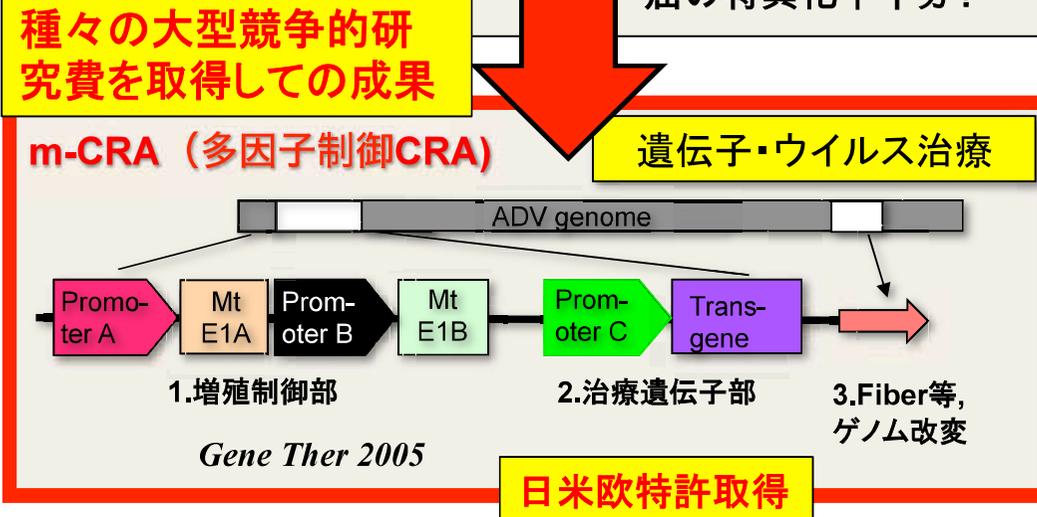
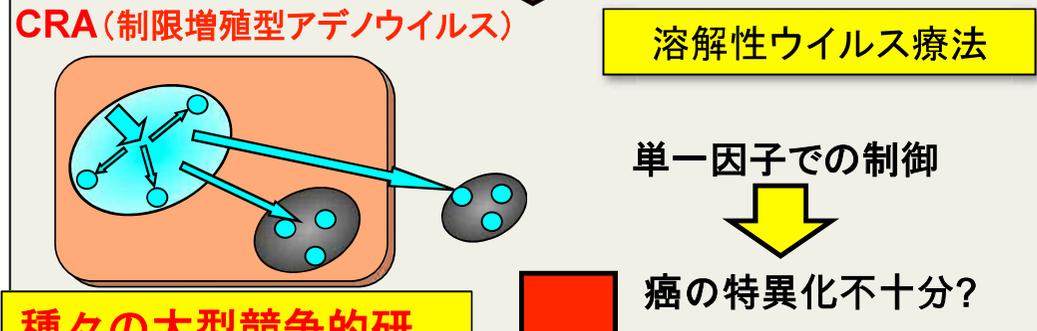
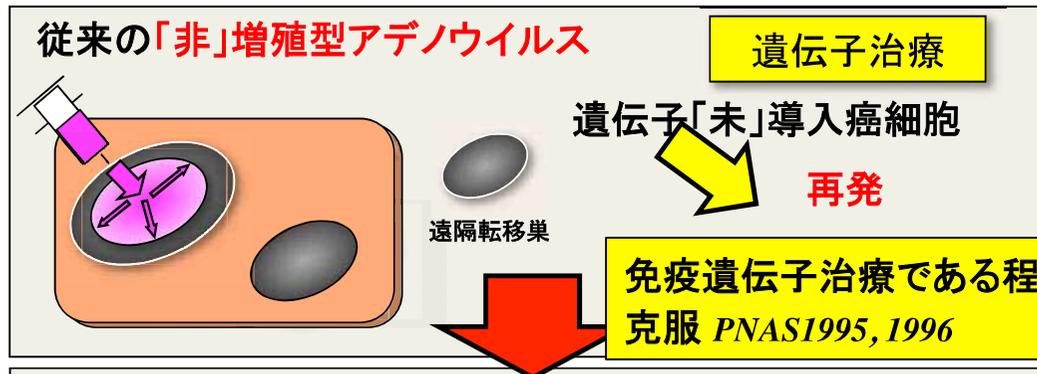
【研究分野】 医歯薬学 Medicine\_dentistry\_and\_pharmacy

【研究（分科）】 基礎医学(Basic medicine)

【勤務形態】 テニュアトラック雇用 (tenure-tracking employment)

【勤務地】 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 3 5 番 1 号 (8-35-1, Sakuragaoka, Kagoshima, Japan)

# 癌遺伝子治療の歴史と我々の独自技術開発の変遷

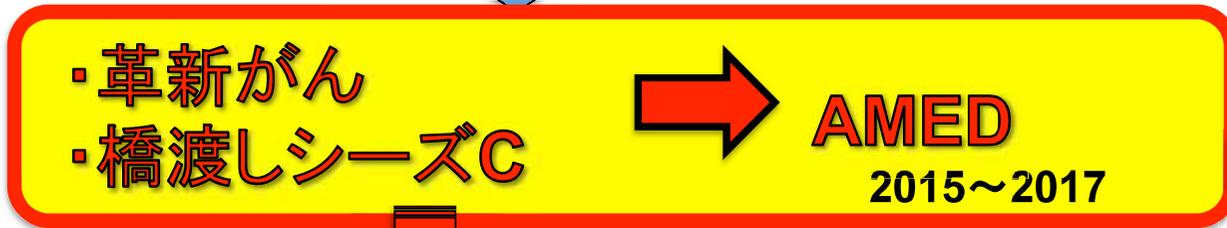


# 実績・展望・意義

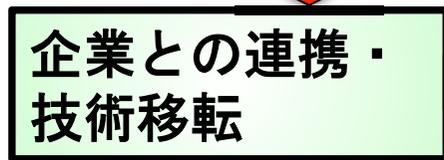
- ・厚労科研（第3次対がん10か年総合戦略） 2004～2013
- ・JST大学発ベンチャー創出事業 2007～2009



- ・厚労科研（難病・がん等） 2012～2014
- ・文科省橋渡しシリーズC 2014



大学と研究者  
が一体で推進



海外実用化

転移癌への治療

同種の第二医薬シ  
ーズの開発

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 1. 本学発の基礎研究成果の応用   | → 学術的価値 |
| 2. 革新癌治療薬の世界初の実用化へ | → 社会的価値 |
| 3. 国際的な共同開発・実用化    | → 国際化   |

# <鹿児島大学の改革と機能強化>

進取の気風にあふれる総合大学

## 鹿児島大学

鹿児島大学

～アジア・太平洋の中の鹿児島～

### 現状と課題

### 第3期中期目標・中期計画(6年後の鹿児島大学)

#### 大学改革プラン対応

#### ミッションの再定義

強み・特色の強化

#### 地域の特色

- 本土最南端 ・南北600km
- 全国有数の離島県
  - ・離島人口 日本一 18万人
- 日本有数の食料基地
  - ・全国1位 豚鶏飼育、ウナギ養殖生産
  - ・全国2位 肉牛、海面養殖、日本茶生産
- 温帯から亜熱帯への生物多様性
  - ・日本初の国立公園ー霧島ー
  - ・世界有数の活火山ー桜島ー
  - ・世界自然遺産ー屋久島ー
  - ・生物多様性ー奄美群島ー
- 日本唯一ロケット打ち上げ施設保有

#### 地域の課題

(鹿児島県「かごしま未来ビジョン」より)

- 地域活性化
  - ・離島振興(奄美振興法など)
  - ・経営革新人材育成 ・国際物流拠点
- 産業振興・観光振興
  - ・農業振興 ・水産業振興
  - ・食品関連産業 ・自動車関連産業
  - ・電子関連産業 ・技術革新
- 地域資源の活用不足
  - ・バイオマスなど各種資源活用
- 環境保全・環境問題
  - ・地域防災対策(原子力を含む)
- 超高齢化先進県
- 地域コミュニティの再生・活性化
  - ・限界集落
- 医師不足や偏在

#### 日本社会の課題

- 女子人材不足

大学の機能強化

- **グローバルな視点を有する地域人材育成の強化**
  - ・地域特性を活かした教育及び国際化に対応した教育の推進
  - ・高大接続の見直し
  - ・アクティブ・ラーニングの強化
  - ・教育の内部質保証システムの整備
  - ・学生支援の拡充

- **大学の強みと特色を活かした学術研究の推進**  
地域特有の課題研究「島嶼、環境、食と健康、水、エネルギー」及び火山・地震等の防災研究の推進
- **先進的な感染制御、実験動物モデル等の卓越した研究の促進**  
(先進的な感染制御(難治性ウイルス疾患、人獣共通感染症等、生物多様性、先進的な実験動物モデル(ミニブタ等)、天の川銀河、**難治性がん等の研究**)

第3期中期目標：機能強化の方向性に応じた重点支援：  
「鹿児島大学・本邦発の革新的な癌治療薬の開発から実用化までの拠点構築ー鹿児島大発の技術を基盤とした革新的な癌治療薬の研究・臨床応用・実用化の一貫通貫プロジェクトー」

南九州及び南西諸島域の  
「地域活性化の中核的拠点」  
(地域の知の拠点)

- **地域ニーズに応じた社会人教育や地域連携の推進**
  - ・社会連携機構(仮称)を中心に社会貢献の取組を推進
  - ・知的・文化的な生涯学習の拠点として、地域産業界との連携を強化
  - ・リカレント教育の拡充
  - ・地域イノベーションの創出

- **機能強化に向けた教育研究組織体制の整備**
  - ・学長のリーダーシップの下、大学のガバナンス改革を推進
  - ・学術研究院制度の効果的な活用による組織見直し  
(文理融合系の教育研究を取り入れた学部等の再編、奄美群島拠点の拡充等)
  - ・学内資源の再配分

**鹿児島大学・本邦発の革新的な癌治療薬の開発から実用化までの拠点構築－鹿児島大学の技術を基盤とした革新的な癌治療薬の研究・臨床応用・実用化の一気通貫プロジェクト** (第3期中期目標: 機能強化の方向性に応じた重点支援)

**背景・課題**

- 本邦での革新的癌治療薬開発には、独自技術に基づく医薬シーズの基礎研究開発から医師主導治験まで一体化した研究開発体制の確立が急務。
- 本学発の革新的癌治療(遺伝子・ウイルス治療)技術は、これまで大型競争的研究費で開発を進めた成果(実績)を発展させ、AMED大型研究で世界初の医師主導治験と早期実用化へと進行しており、社会的期待も高い。

**目的**

本技術を基盤に国際共同研究を含む新たな革新的癌治療薬の研究開発を進め、大学ネットワーク強化にて医師主導治験を実施して実用化の展望を開く。医療政策の「基礎から実用化まで一体化」に沿った研究開発と人材育成を行う。

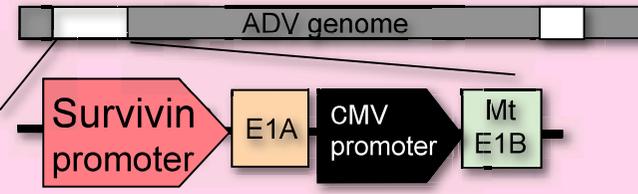
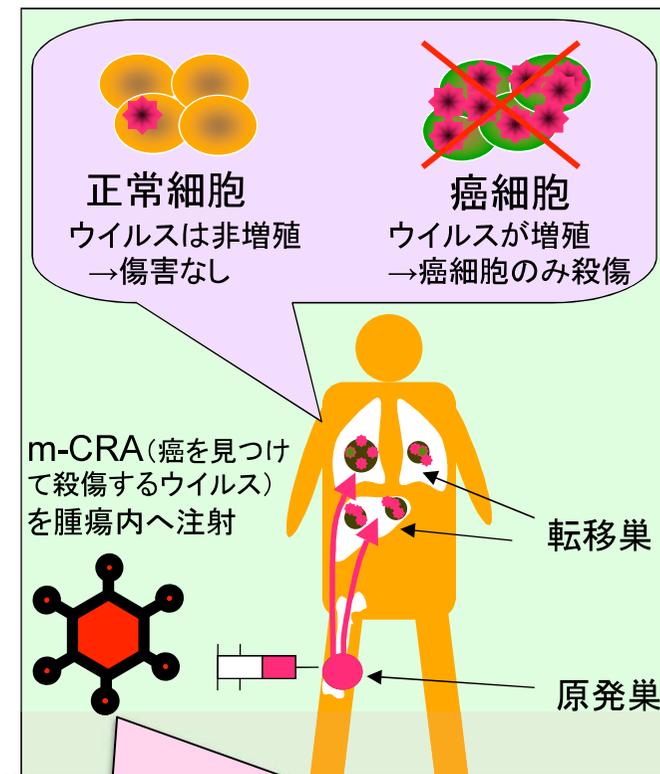
**取組内容**

- 横断組織のセンターを中核に、基盤研究にて本学・本邦発の新技術の創出。
- 国際共同研究で別の革新的治療技術も融合した革新技術の創出。
- 知財確保、大学ネットワーク強化、新しい学内組織体制の構築。

**効果**

(1)本学・本邦発の革新的な癌治療薬の創出、(2)国際共同研究により全く新たな癌治療薬の創出、(3)新興・融合分野の形成、(4)国際共同研究の進展、(5)教育組織の再構成による新たな研究者ユニット機能強化、(6)時代に即した人材の育成、(7)産学官連携体制強化、(8)大学間ネットワークの強化。

- 第三期中期目標に合致した本学の強みを生かした機能強化。
- 概算要求、AMED大型研究費、**卓越研究員**が連動して若手人材育成。
- 「医療による日本再興戦略」という政策実現に貢献。



- **m-CRA技術は本学・本邦発の技術**(国内・国際特許も取得)
- 第一弾のSurv.m-CRAは平成27年度、**本学で世界初の医師主導治験を開始予定**

# ロードマップ

